

ハタケのチカラ

監督撮影編集 津村和比古(J.S.C)



光、水、土を介して
畑で生命は巡る
日々の営みには意味があり
目に見えない世界とつながる
食べるものを作ることは 生きること
何のために生きているのかという問いに
向き合っている人たち

神奈川県藤沢市は人口約44.4万人で湘南地方の中心都市。
南部は江ノ島、鵺沼海岸を有する県内有数の観光エリア。
北部は農業振興地域として農地が保全され、田園風景が広がる。
本作品は北部の御所見地区で有機農業を“生き方”として選択し、
理念、理想に基づいて少量多品目で野菜の生産をしている
“小さな農家”の、四季を通じた畑の記録です。



ここに農園 井上宏輝
養護学校教師を辞め、農家になって16年
人を引き寄せるパワー満載
生きる術は「まっぴか」



Kidani Farm
木谷夫婦に家族が増えた
今は三人で生きるのに精一杯
農業は大変だが、何より幸せ

相原農場 相原成行
カミさん(晴美さん)に鍛えられている
藤沢の有機農業のレジェンド
そのスピリットは農家の魂



地球環境問題は大切なテーマ
パーマカルチャー ビーチクリーン アート活動
そして東洋と西洋の文化融合の実践



▶津村和比古監督プロフィール:
日本映画撮影監督協会会員
チベットから単身ヒマラヤを超えてインドへ、
10歳の難民少年オロの日常を描いた
ドキュメンタリー映画「オロ」で
第21回日本映画撮影監督協会賞(JSC賞)受賞。
初監督作品「かくやびより」で、
うえだ城下町映画祭自主映画コンテスト
審査員賞受賞。
第62回伊勢神宮・式年遷宮公式記録
撮影(2003~2013年) 等々

▶スタッフ:
監督・撮影・編集:
津村和比古(J・S・C)
撮影・カラーリスト
相馬正彦(サンズ)
整音:滝澤 修
画:三本木海人
タイトル字:橋本安希子
宣伝美術:鈴木 衛
挿入楽曲:小林夕夏
(sunsetsummer)

▶制作:(有)津村和比古事務所
〒145-0063
東京都大田区南千束1-3-15
090-1424-4775
tsumking80@gmail.com
https://tsumura-eiga.com/

この映画は「人生の柄」の織り方を描いている。
「みんなが同じ柄を織る必要はないんだよ」と。
「畑の柄」も人それぞれ違う。
そして、失敗したって「まあ、いいか」と前を向く。
この映画からぼくが学んだのは、「人生の柄」も「畑の柄」も
愛の織物だということ。そして有機農業は愛情農業だということ。
18歳で東京に出た農家の長男のぼくは、45年が過ぎた5年前、
故郷へ戻り、農業を始めた。そんなぼくが耕す「田畑の柄」は未だはつきりしない。
やっぱり愛が足りないんだな。

(代島治彦 ドキュメンタリー作家)

茅ヶ崎上映会!!

◎2月14日(土) 18:00~20:00

茅ヶ崎市民文化会館

◎2月15日(日) 9:45~11:45

茅ヶ崎市勤労市民会館

参加費:1000円/人

詳細・お申込みはこちらから→

